



海外で教える先生たちの魅力を日本に届ける

教育学部**教育領域****講師****高須 明根**

研究シーズの概要

日本は、在外教育施設という海外に住む子どもたちのための学校を数多く設けています。保護者の都合や国際結婚などの理由によって海外で生活する必要がある子どもたちは、現地の学校かインターナショナルスクール、もしくは日本人学校などの在外教育施設において学ぶこととなります。せっかく海外に行ったのだから現地の学校に通わせて英語などを身につけさせたいと考える家庭がある一方で、日本国内と同等の教育を実施している日本人学校は、1～2年ほどで帰国するような家庭にとってより自然に帰国後の教育を受けることができるという点で魅力的です。

在外教育施設では、文部科学省を通して派遣された教員や各学校が採用する教員などによって授業が行われています。このような先生たちは、現地の文化をうまく活かしながら海外だからこそ学ぶことができるような授業実践を日々模索しています。例えば、社会科では現地文化を体験することを通して、現地「を」理解するだけでなく、日本と並行して現地「も」理解できるような実践が試みられています。また、信仰する宗教が異なることによって生じる死生観の違いを活かした国語科の実践もあり、日本とは異なる子どもたちの反応がみられます。

このように、海外だからこそできる授業や子どもたちが多様な背景を有していることを意識した授業は日本にも広く紹介されるべきだと思います。特に、外国にルーツのある子どもたちが増加している状況を踏まえれば、海外で教える先生たちの実践から学べることもたくさんあるはずです。しかし、現状ではまだまだその可能性を引き出すことができていません。

まずは、海外で教える先生たちの実践のユニークさを広く日本国内に広めていくとともに、今後教員になる学生たちに対してもその魅力を伝えていきたいと考えています。そのためにも、情報を発信し教員同士のつながりを生み出しつつ、様々な実践をアーカイブとして保存していくことができるようなプラットフォームを構築することを目指しています。

【利用が見込まれる分野】 帰国・外国人児童生徒、国際理解教育、教員養成

研究者プロフィール

高須 明根 / タカス アカネ

メールアドレス takasu.akane@kagawa-u.ac.jp
所属学部等 教育学部 教育領域
職位 講師
学位 博士（教育学）
研究キーワード 教育哲学、市民性教育、日本人学校、教師教育

本研究に関するお問い合わせは、香川大学産学連携・知的財産センターまで

問い合わせ番号：ED-25-002

直通電話番号：087-832-1672

メールアドレス：ccip-c@kagawa-u.ac.jp